

2021年3月期 第1四半期

決算説明資料

株式会社ナガワ (証券コード：9663)

2020.7.27

2021年3月期 第1四半期 連結決算概況 (2020/4/1 ~ 2020/5/31)

B/S	4
P/L	5
要素別売上高増減	6
四半期ごとの売上高推移	7
セグメント別	8
ユニットハウス事業	9
モジュール・システム建築事業	10
建設機械レンタル事業	11
設備投資費と減価償却費	12

2021年3月期 業績見通し (2020/4/1 ~ 2021/3/31)

業績見通し	14
累計進捗率	15
セグメント別	16
ユニットハウス事業	17
モジュール・システム建築事業	18
建設機械レンタル事業	19
設備投資費と減価償却費	20
免責事項	21

2021年3月期第1四半期
連結決算概況

連結決算概況—B/S

	FY2019 Q1	FY2020 Q1	FY2021 Q1	YonY	
	18年4-6月	19年4-6月	20年4-6月	増減	増減率
※単位：百万円					
流動資産	23,002	24,213	23,258	△955	△3.9%
貸与資産	7,938	7,630	7,966	336	4.4%
固定資産	19,999	22,237	25,320	3,083	13.9%
総資産	43,002	46,450	48,579	2,128	4.6%
流動負債	3,635	4,042	3,643	△398	△9.9%
純資産	39,243	42,259	44,768	2,509	5.9%
自己資本比率 (%)	91.3%	91.0%	92.2%	1.2pt	-
1株当たり純資産 (円)	2,788.94	2,745.06	2,873.51	128.45	4.7%

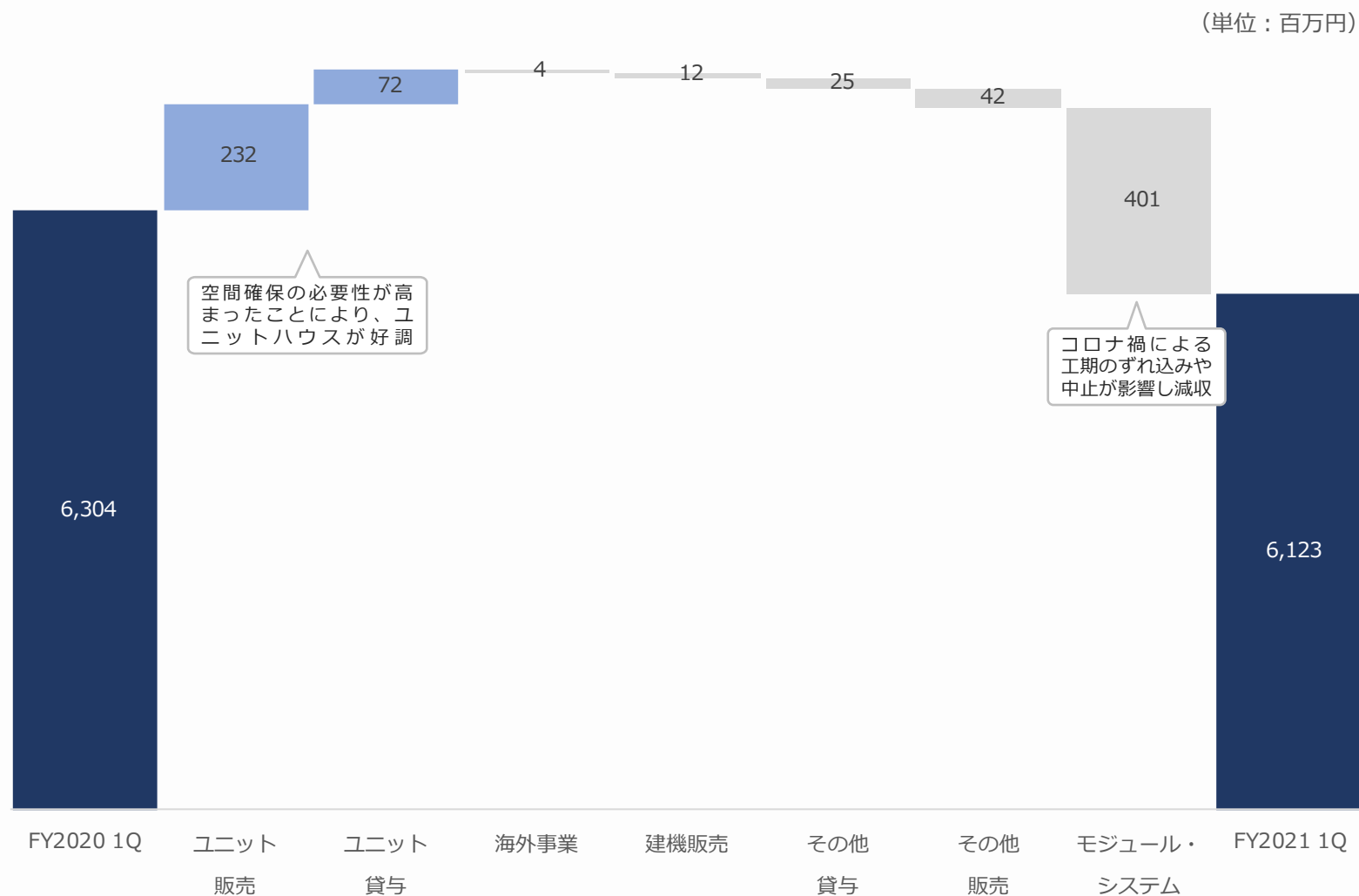
連結決算概況—P/L

	FY2019 Q1	FY2020 Q1	FY2021 Q1	YonY	
	18年4-6月	19年4-6月	20年4-6月	増減	増減率
売上高	5,963	6,303	6,123	△180	△2.9%
販売収入	2,959	3,130	2,901	△228	△7.3%
レンタル収入	3,004	3,173	3,221	47	1.5%
売上総利益	2,424	2,425	2,665	239	9.9%
営業利益	672	604	812	208	34.5%
経常利益	716	702	981	279	39.8%
当期純利益 (※)	434	449	652	203	45.2%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

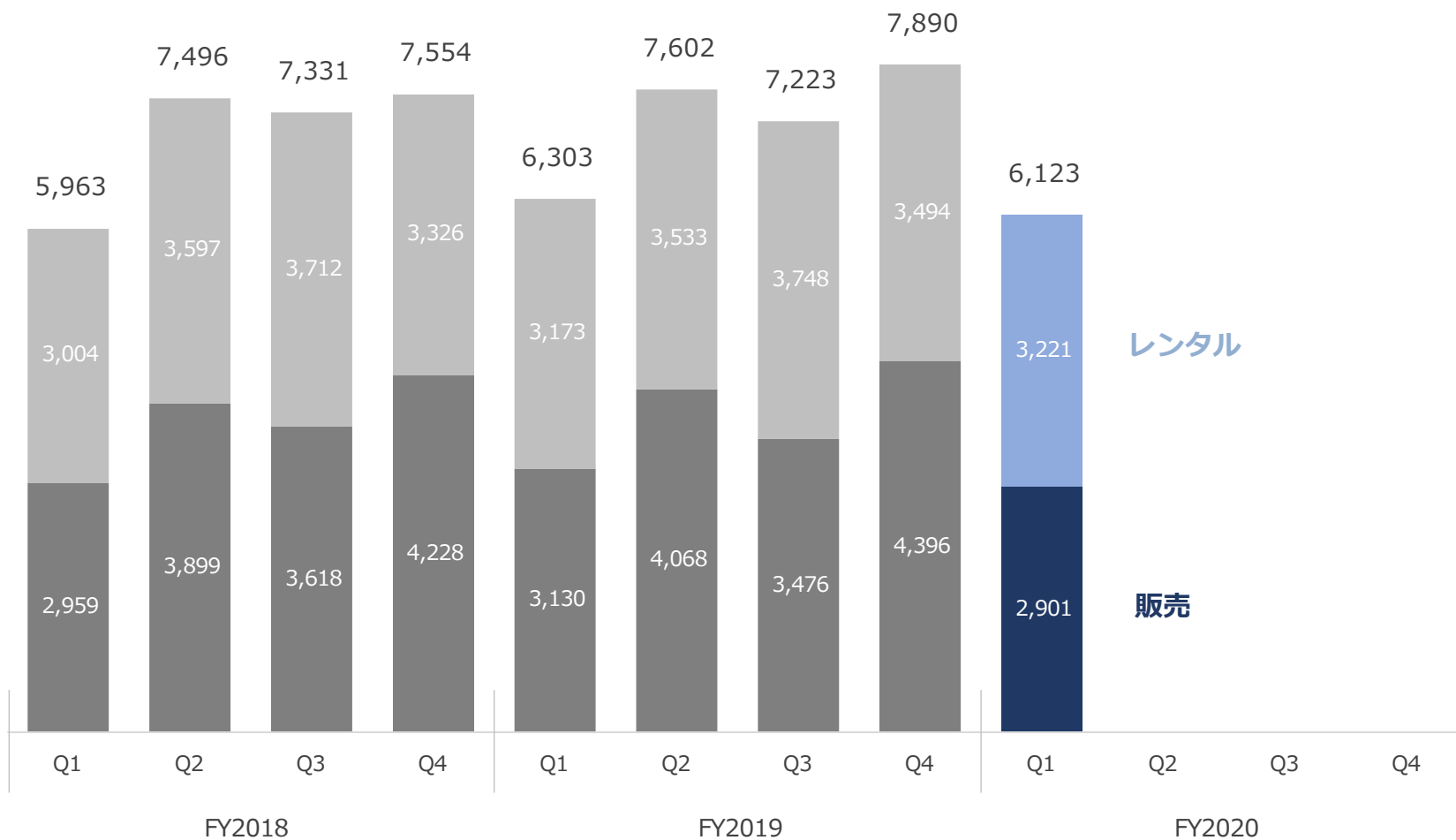
連結決算概況—要素別売上高増減

新型コロナウイルスの影響により経済が極度な停止状態にあります、
当社においてはこの脅威が会社経営に与える影響と、新しい需要を生み出す環境が混在した四半期となりました。



連結決算概況—四半期ごとの売上高推移

販売では、コロナ禍の影響を受けたモジュール・システム建築の落ち込みを、今期より促進に転じたユニットハウス中古販売で補い、昨年並みに推移。レンタルにおいては前期より進めてきた生産体制強化により、需要増に応える形で稼働率をキープし、増収となった。



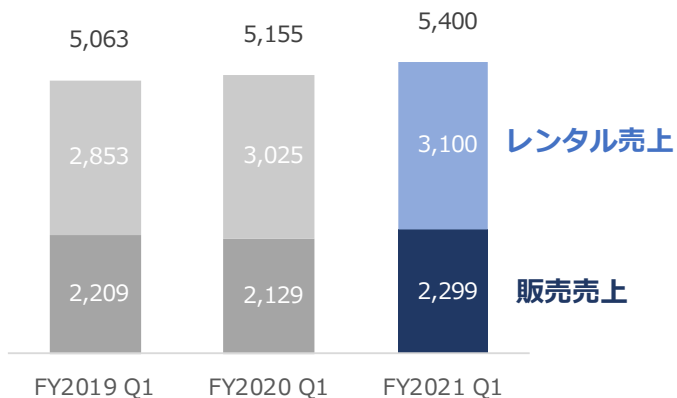
連結決算概況－セグメント別

	FY2019 Q1 18年4-6月	FY2020 Q1 19年4-6月	FY2021 Q1 20年4-6月	YoY	
※単位：百万円				増減	増減率
売上高合計	5,963	6,303	6,123	△180	△2.9%
ユニットハウス事業	5,063	5,155	5,400	245	4.8%
モジュール・システム建築事業	682	962	577	△385	△40.0%
建設機械レンタル事業	217	185	145	△40	△21.6%
営業利益合計	672	604	812	208	34.5%
ユニットハウス事業	712	710	795	185	30.4%
モジュール・システム建築事業	50	51	58	19	49.6%
建設機械レンタル事業	△2	△31	△27	7	△21.0%
全社消去	△86	△124	△13	208	34.5%

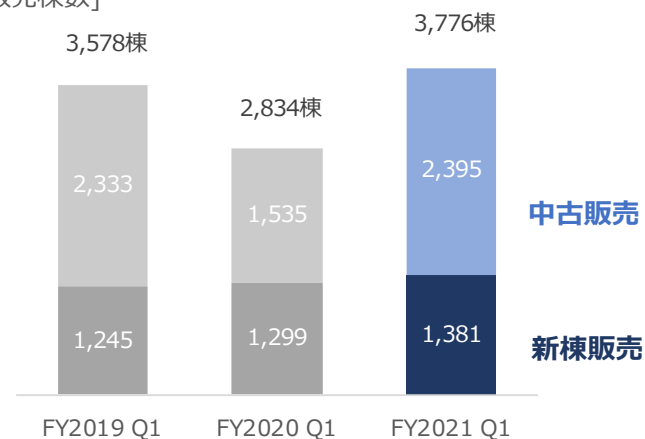
連結決算概況－ユニットハウス事業

前期より進めてきた生産体制強化により、レンタル市場への対応力が向上。ユニットハウスの中古販売を例年どおり促進へ移行し、前期比増となる。またコロナ禍における建設業界では、フィジカルディスタンス確保の必要性が高まり、通常より棟数多めの案件が増加。医療関係では仮設発熱外来受付や、検査室などの需要に応えることで増収となった。

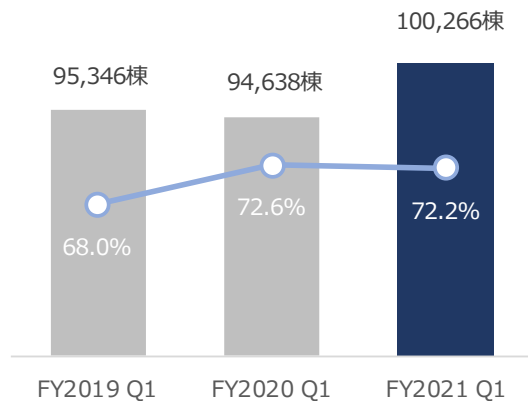
[販売売上とレンタル売上]



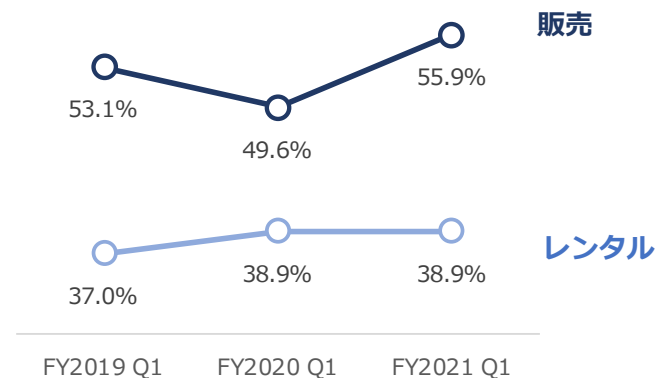
[販売棟数]



[保有棟数と稼働率]



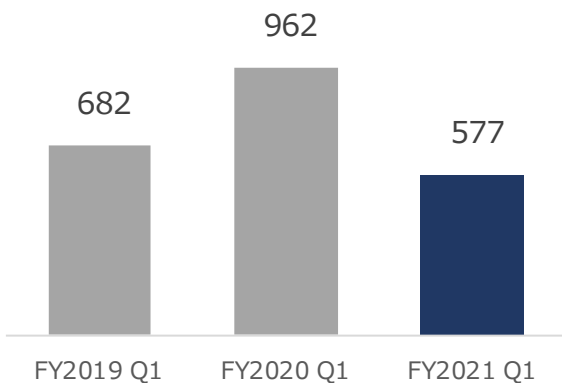
[売上総利益率]



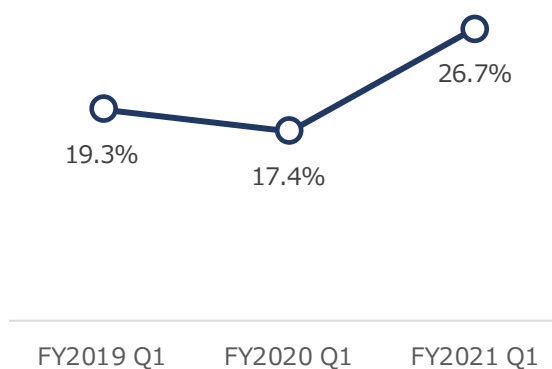
連結決算概況ーモジュール・システム建築事業

新型コロナウイルス感染拡大の中、2月以降の営業活動が停滞。さらに発注者の設備投資マインド低下による案件の中止や延期などが発生し、前期比で減収。第2四半期以降は比較的影響の少ない、地方での案件受注と、コロナ禍におけるコスト削減要望への提案営業を展開する。

[売上高推移]



[売上総利益率]

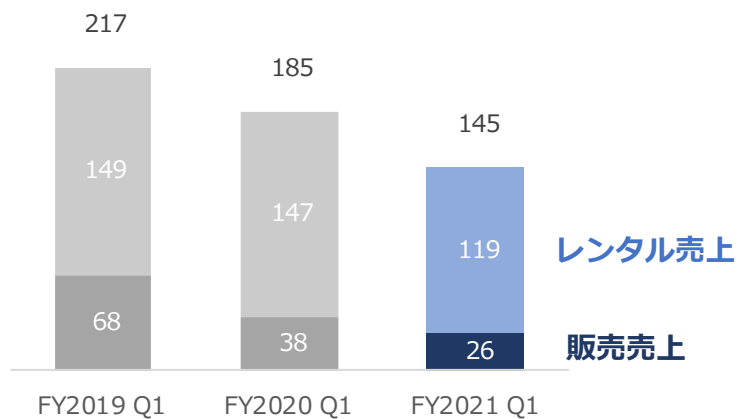


連結決算概況ー建機レンタル事業

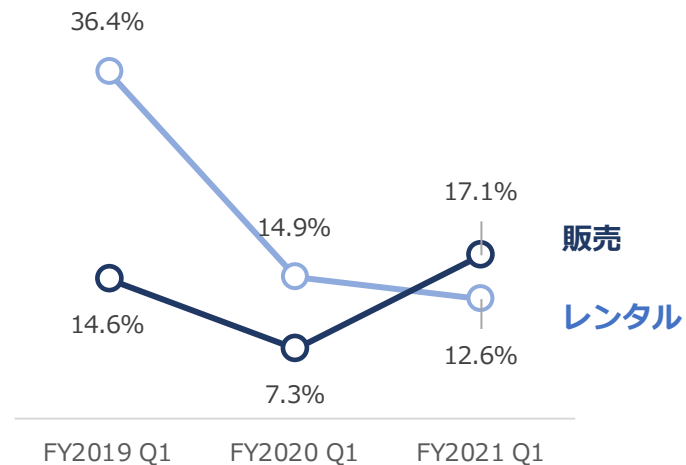
公共工事の発注金額減少や、コロナ禍における発注の遅れ等が稼働時期の遅れにつながってはいるものの、6月以降は工事現場で最初に使用する敷き鉄板の稼働が好調に推移していることから、第2四半期以降での売上回復を図る。



[販売売上とレンタル売上]



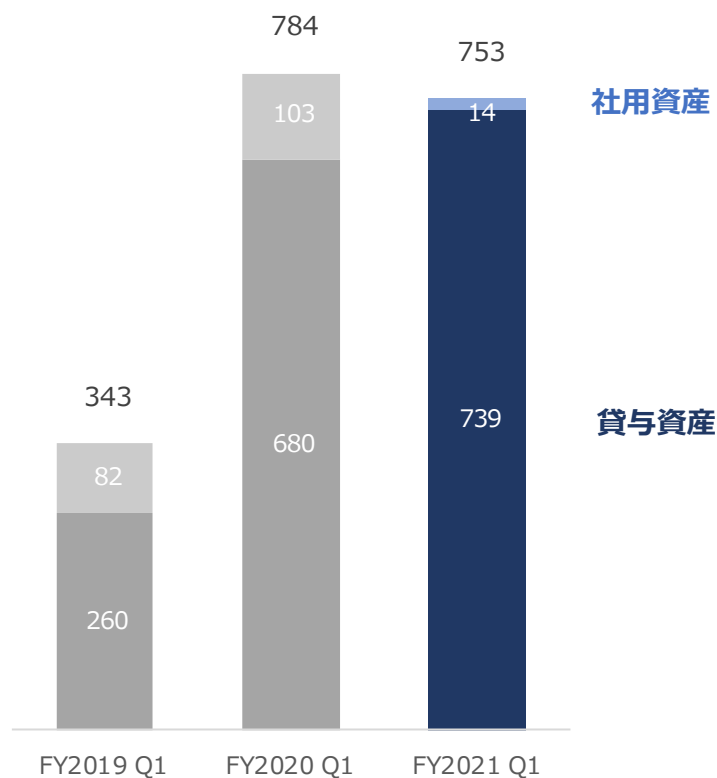
[売上総利益率]



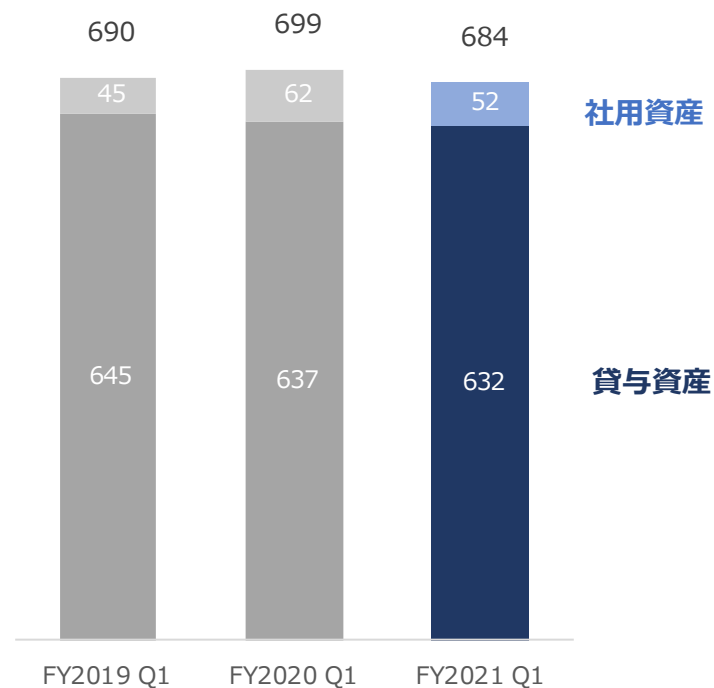
連結決算概況－設備投資費と減価償却費

前期に引き続き、ユニットハウスの稼働率が好調なことから増産体制を維持。貸与資産の新規投入を継続実施したことにより、設備投資費が増加。減価償却費については過年度における減産が影響し例年比並みとなったものの、保有棟数としては増加。

[設備投資費推移]



[減価償却費推移]



2021年3月期

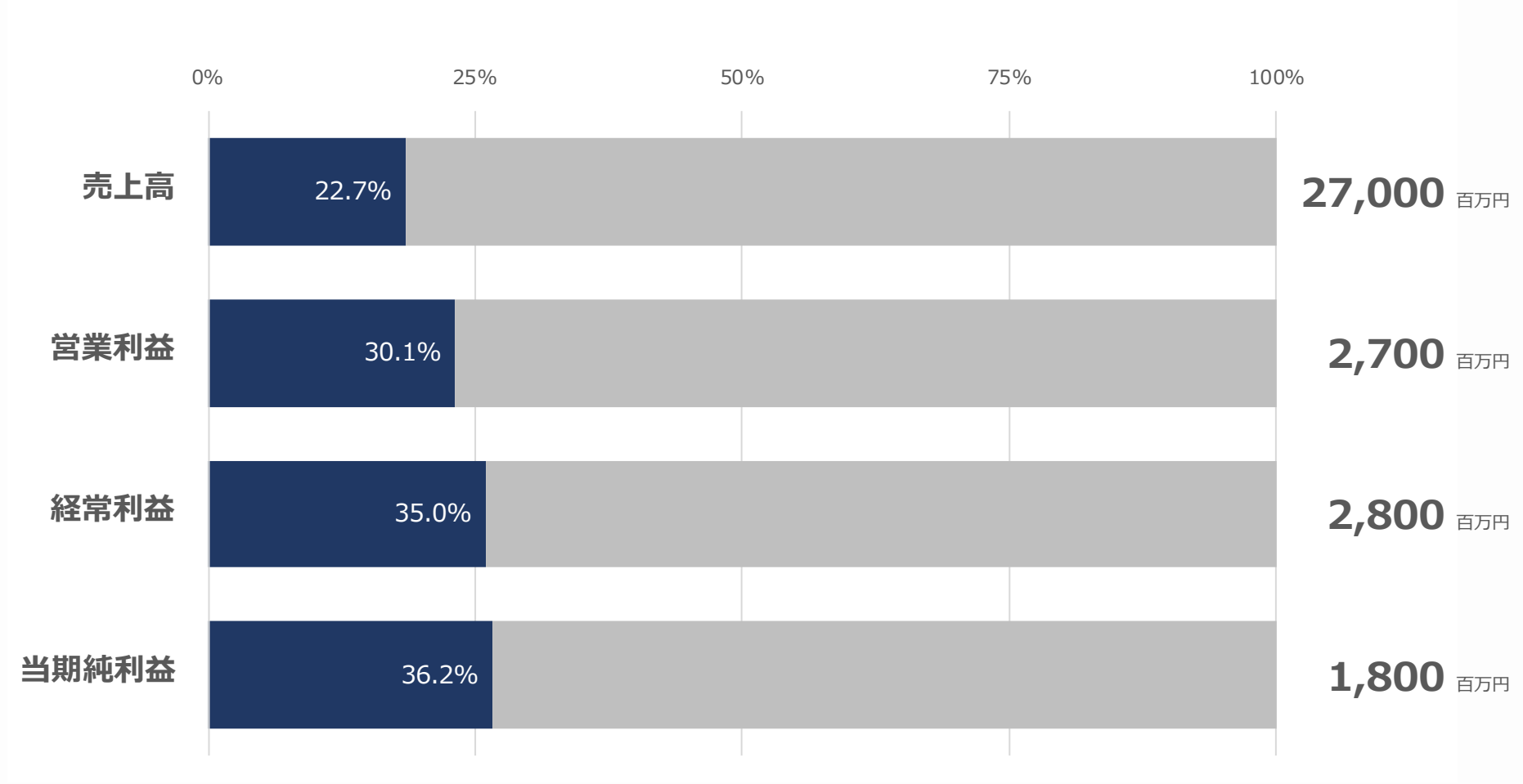
業績見通し

業績見通し

	FY2019 19年4-3月	FY2020 20年4-3月	FY2021計画 21年4-3月	YonY	
※単位：百万円				増減	増減率
売上高	28,344	29,018	27,000	△2,018	△7.0%
営業利益	3,794	3,536	2,700	△836	△23.6%
経常利益	3,979	3,717	2,800	△917	△24.7%
当期純利益（※）	2,632	2,105	1,800	△305	△14.5%
総資産	46,951	49,917	-	-	-
純資産	42,896	44,678	-	-	-
自己資本比率（%）	91.3%	89.5%	-	-	-
1株当たり純資産	2,785.94	2,867.61	-	-	-

業績見通しー累計進捗率

新型コロナウイルスの影響により経済活動が極度な停止状態にある中、当社に与える影響としてはモジュール・システム建築の減収を予想。反面、ユニットハウス事業においては、空間確保の必要性が高まったことによる新たな需要が与える影響を、注視してまいります。

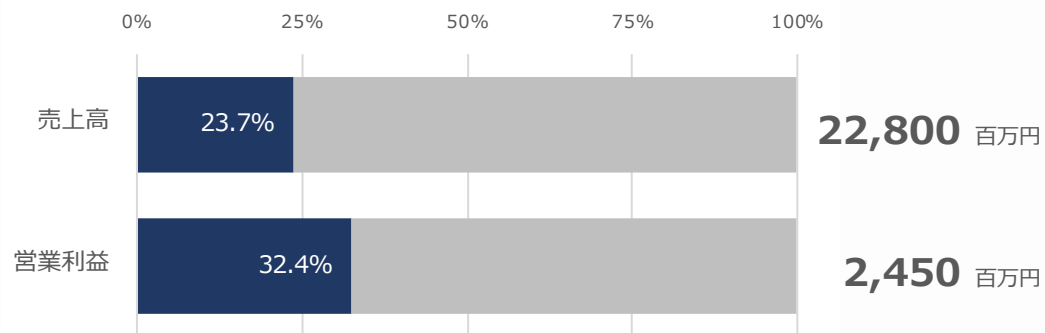


業績見通し—セグメント別

	FY2019 19年4-3月	FY2020 20年4-3月	FY2021計画 21年4-3月	YonY	
※単位：百万円				増減	増減率
売上高合計	28,344	29,018	27,000	△2,018	△7.0%
ユニットハウス事業	22,402	22,826	22,800	△26	△0.1%
モジュール・システム建築事業	4,426	4,920	3,000	△1,920	△39.0%
建設機械レンタル事業	1,515	1,272	-	△1,272	△100.0%
営業利益合計	3,794	3,536	2,700	△836	△23.6%
ユニットハウス事業	3,572	3,676	2,450	△1,226	△33.4%
モジュール・システム建築事業	352	392	-	△392	△100.0%
建設機械レンタル事業	216	12	1,200	1,188	9,900.0%
全社消去	△347	△545	-	545	△100.0%

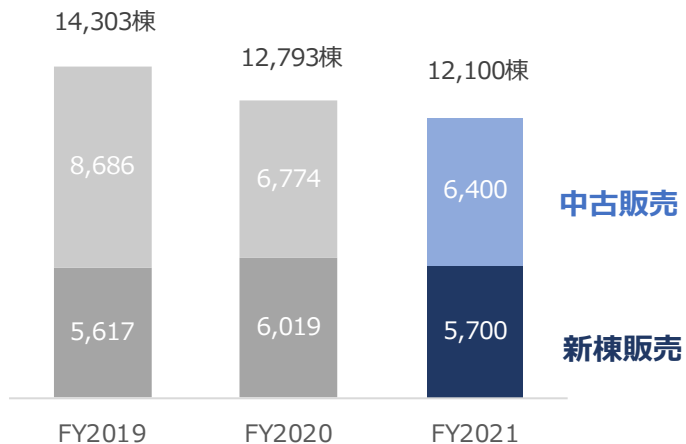
業績見通し—ユニットハウス事業

[進捗率]

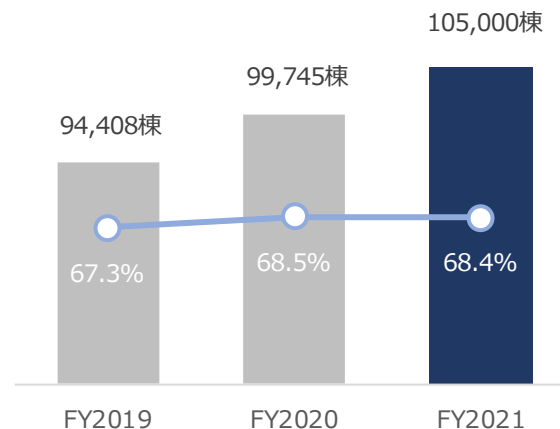


アフターコロナの刺激策として発注が予測される国内の公共工事に対応すべく、前年度より強化してきた工場の増産体制は今年度も継続。レンタルハウスの保有棟数増加を見込む。販売棟数は期初の新型コロナウイルスの影響により全国の展示場来場数が一時的に落ち込みをみせたため、通期では新棟・中古販売ともに減少すると予測。しかし、生産体制強化によりレンタル資産確保が可能となり、昨年度施策的に抑制していた中古販売を例年通りに戻し、売上・利益の向上を図る。

[販売棟数]



[保有棟数と稼働率]



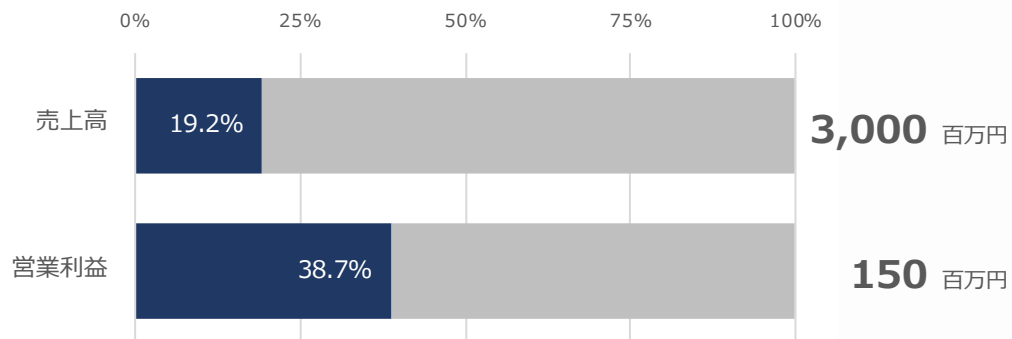
業績見通し・モジュール・システム建築事業

新型コロナウイルスの影響により、民間企業の設備投資マインドが停滞。投資計画の延期や中止が懸念されることから、大幅な減収を予測。

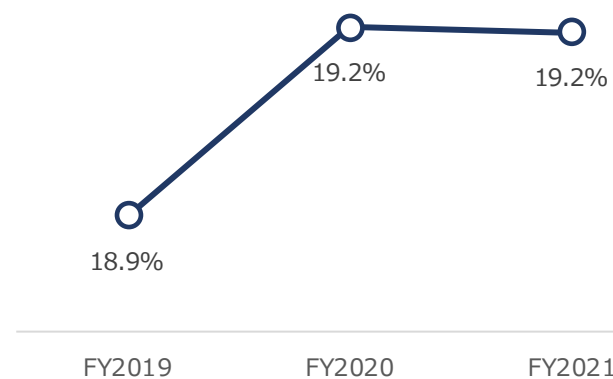
ただし、比較的影響の少ない地方については受注残増加の傾向がみられることから、上積みを図る。



[進捗率]

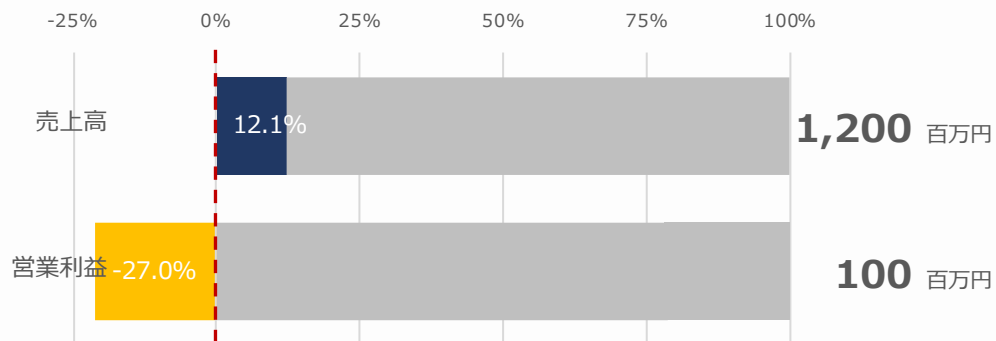


[売上総利益率]



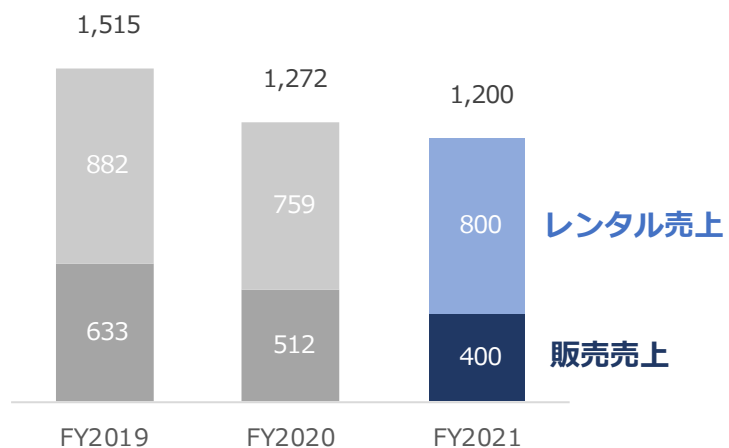
業績見通しー建設機械レンタル事業

[進捗率]

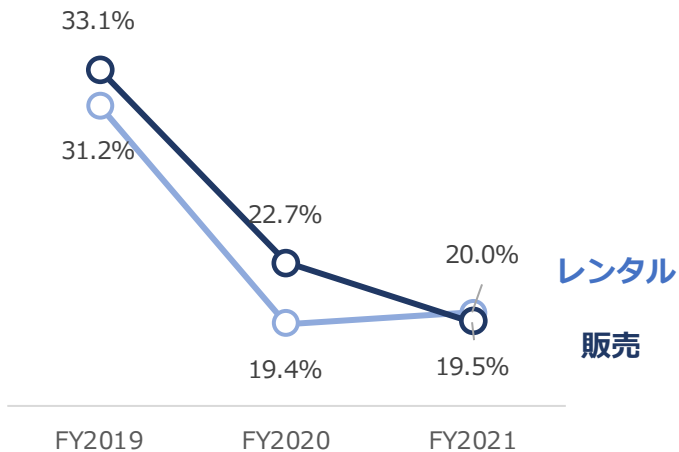


災害復興予算の減少が見込まれる中、アフターコロナの刺激策として発注が予測される公共工事受注を取込み、レンタル資産である自社保有機械の資産回転率を高めることで、利益確保を図る。

[販売売上とレンタル売上]



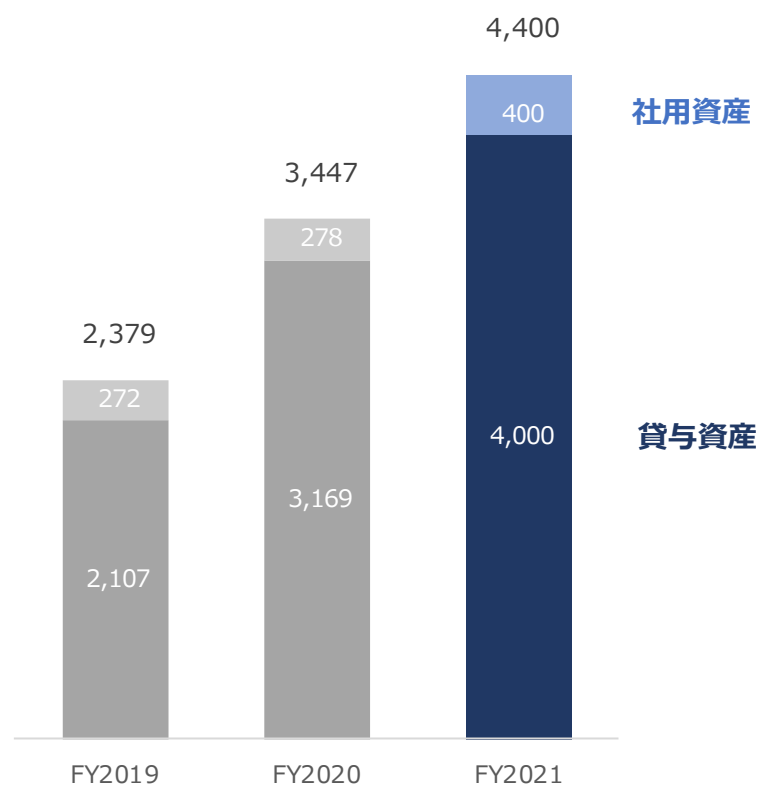
[売上総利益率]



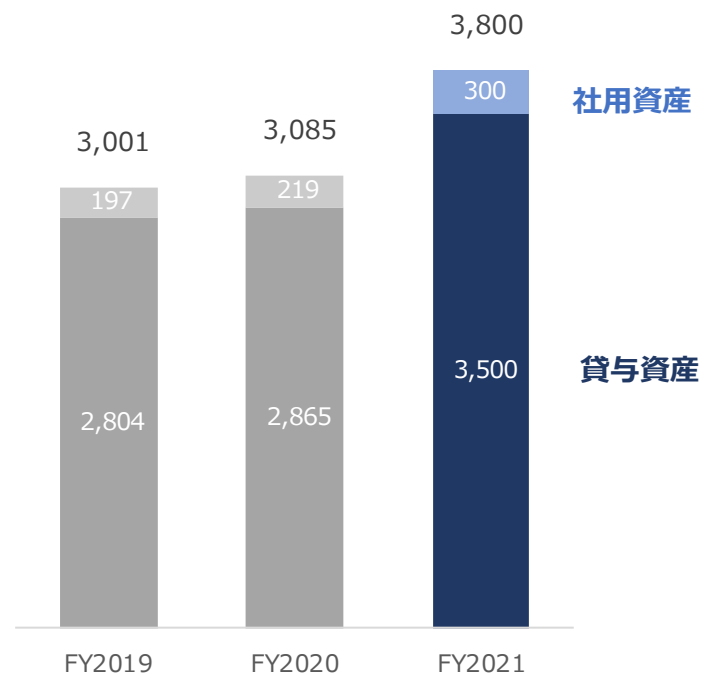
業績見通しー設備投資費と減価償却費

アフターコロナの刺激策として発注が予測される公共工事と、豪雨災害による復旧・復興工事への対応力向上を図るため増産体制の継続を計画。継続することにより、ユニットハウスの中古販売を例年ペースで行いつつも、保有棟数増加の見込み。

[設備投資費推移]



[減価償却費推移]



免責事項

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

※決算短信や、その他の資料は弊社HPにてご確認ください。

株式会社ナガワ | IRライブラリー

<https://group.nagawa.co.jp/ir/library.html>

